

横浜火力発電所におけるガスタービン等の取替工事について

1. 発電所の概要

- (1) 所在地 横浜市鶴見区大黒町 11-1
- (2) 所長 むらやま きよし 村山 潔
- (3) 敷地面積 約 44 万 m²
- (4) 出力 335.2 万 kW
- (5) 設備概要

発電設備	概要	
5号	出力	17.5万kW
	発電システム	汽力発電
	熱効率	41.6%
	燃料	LNG（液化天然ガス）
	運転開始	1964年3月
6号	出力	35.0万kW
	発電システム	汽力発電
	熱効率	42.2%
	燃料	LNG（液化天然ガス）
	運転開始	1968年6月
7号系列	出力	142.7万kW(35万kW×3軸, 37.7万kW×1軸)
	発電システム	1300℃級コンバインドサイクル発電（ACC）
	熱効率	7-1, 3, 4軸 : 54.1% 7-2軸 : 55.8%
	燃料	LNG（液化天然ガス）
	運転開始	1998年1月（全軸運開） 2015年7月 7-2軸ガスタービン取り替え
8号系列	出力	140万kW(35万kW×4軸)
	発電システム	1300℃級コンバインドサイクル発電（ACC）
	熱効率	54.1%
	燃料	LNG（液化天然ガス）
	運転開始	1998年1月（全軸運開）

※ 1～4号機については廃止

※ 熱効率は低位発熱量基準

2. 7号系列および8号系列のガスタービン等の取替工事計画

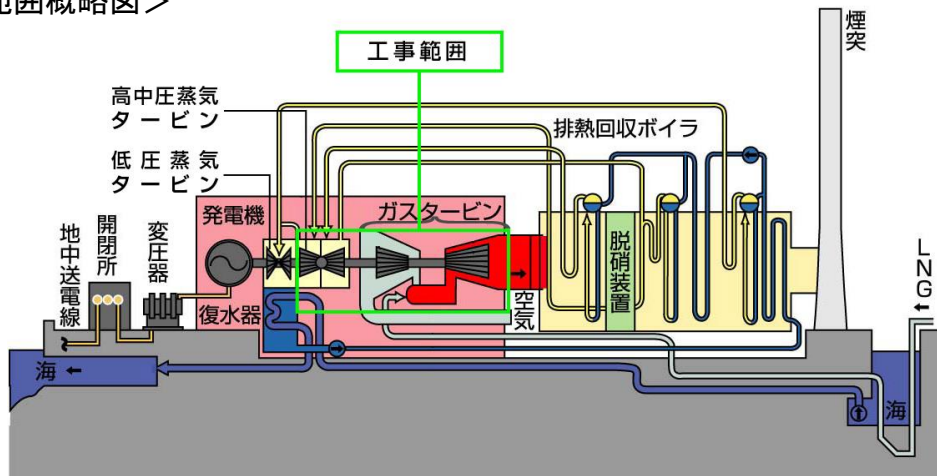
	横浜火力発電所7号系列				横浜火力発電所8号系列			
	第1軸	第2軸	第3軸	第4軸	第1軸	第2軸	第3軸	第4軸
定格出力	各35万kW→37.7万kW 4軸合計 150.8万kW				各35万kW→37.7万kW 4軸合計 150.8万kW			
運転開始年月	1998年1月				1998年1月			
設計熱効率(LHV)	54.1%→55.8%				54.1%→55.8%			
発電種別	LNG (ACC)				LNG (ACC)			
工事完了後の 運転再開時期	2016年 7月	2015年 7月	2017年 7月	2017年 1月	2017年 4月	2018年 1月	2016年 1月	2016年 4月

3. ガスタービン等の取替工事内容

ガスタービンと高中圧蒸気タービンを取り替えることにより、発電効率の向上および増出力を図るもの。

なお、排熱回収ボイラ、低圧蒸気タービン、発電機、補機等は既存設備を利用する。

<工事範囲概略図>



<7号系列第2軸のガスタービンの取替工事の様子>



新しいガスタービン設備本体
の吊り上げ作業



新しいガスタービン設備
(ローター) の吊り込み作業



ガスタービン設備
分解作業

以上